

学生向け無料オンラインセミナー
〈映画制作の裏側を知ろう〉

美打ち

(美術打ち合わせ) 編



「美打ち」とは、

映画の撮影前に美術部と様々な部署が
一緒に行う「美術打ち合わせ」のことです。

台本に基づいて作品の世界を創る過程を、
映画『ほどなく、お別れです』を例に解説します。

映画『ほどなく、お別れです』

プロデューサー・片平大輔氏

美術・花谷秀文氏、VFX・鎌田康介氏

を講師にお招きし、同映画での具体的な
作業内容ほか、Q&Aを交えて経験談を
聞くことができる貴重な機会！

3/9 (月) 14:00

2026年

～16:30 終了予定

会場: ZOOM, VIO● (若干名) | 定員: 100名

参加方法: 申込フォームより | 参加無料

対象: 映画・映像業界に関心がある学生, 映画が好きな学生



プロデューサー 片平大輔氏



1974年福島県出身。1999年～2023年まで
フリーランスでドラマ、映画の制作部を
経て、2024年からTOHOスタジオにて
プロデューサー業に従事。

主なプロデューサー担当作品:
『ほどなく、お別れです』『君が最後に遺した歌』
(ともに2026年/三木孝浩監督)

主なラインプロデューサー担当作品:
『ブルーピリオド』(2024年/萩原健太郎監督)
『東京リベンジャーズ2 血のハロウィン編』
(2023年/英勉監督) など。

1967年広島県出身。高校在学中、大林宣彦監督『野ゆき山ゆき海辺ゆき』に
ボランティアスタッフとして参加したのち上京し、東宝撮影所で
スタジオマンのアルバイトを経験。同監督『漂流教室』に
制作進行助手として参加後、映画美術の世界に進む。
映画を中心に数多くの作品で美術を担当。

主な美術担当作品: 『ほどなく、お別れです』
『君が最後に遺した歌』(ともに2026年/三木孝浩監督)
『宝島』(2025年/大友啓史監督)
『ディア・ファミリー』(2024年/月川翔監督) など。

受賞歴:

2026年日本アカデミー賞優秀美術賞
『宝島』(大友啓史監督)

2016年日本アカデミー賞最優秀美術賞
『海難1890』(田中光敏監督)

2003年米国美術監督協会最優秀美術賞ノミネート
『キルビル Vol.1』(Q・タランティーノ監督)

※アートディレクターとして参加

美術

花谷秀文氏



©2026『ほどなく、お別れです』製作委員会 ©長月天音/小学館

1980年生まれ。都内ポスプロで編集を経験後、パソコンスクールの
インストラクターを経て、2003年に東京現像所へ入社。
フリーランスを経て2022年からレディバグエフェクト合同会社。

主なVFXスーパーバイザー担当作品:
『君が最後に遺した歌』『ほどなく、お別れです』(ともに2026年)
『知らないカノジョ』(2025年)
『今夜、世界からこの恋が消えても』(2022年)
(すべて三木孝浩監督)

『言えない秘密』(2024年/河合勇人監督)
『君の隣をたべたい』(2017年/月川翔監督) など。

鎌田康介氏 VFX



参加
お申込みは
こちらから



申し込みめきり: 3/8(日)

地下鉄東銀座駅すぐ、東劇ビル2F



Visual Industry Promotion Organization
特定非営利活動法人 映画産業振興機構

お問い合わせ: 特定非営利活動法人映画産業振興機構 (VIO) 内 映画スタッフ育成事務局
メール: Intern@cinema-intern.bunka.go.jp | 公式サイト: https://cinema-intern.bunka.go.jp